

心理学科

教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

【教育課程・教育方法】

1 年次

基本科目として演習を必修としている。実験演習では、基礎的な心理実験を少人数グループで実践しながら体験するアクティブ・ラーニングを通じて、データの分析やレポート作成の基本を学ぶ。心理学の研究法や倫理とともに、対人援助において重要な理解・共感のプロセスを学ぶための演習も提供している。また、心理学の初歩的な知識を習得するために、概論を科目群として設定している。

2 年次

実験演習では、人間の心を科学的に研究するための方法論を、アクティブ・ラーニングによって更に深く体験する。レポート作成と添削を受けるフィードバック経験を通じ、学術的な報告書作成のための技能修得を目指す。

2 年次以降

特定テーマの心理現象の深い理解を促すとともに、コンピュータを用いた統計的解析法やプレゼンテーション技法を学ぶために、概説や特講といった科目群を置いている。

3 年次以降

学科専修科目として3年次から少人数クラスでの演習（ゼミ）を設置し、専門性の高い学術資料の講読や研究法の実習を行う。3、4年次の演習（ゼミ）を通じ、科学的知見の正確な理解と批判的な思考を介して新たな研究へと発展させていく態度が養成されるよう配慮している。

4 年次

学修を集大成する卒業論文を必修とする。

公認心理師資格の取得を希望する者のための演習や実習を含んだ科目、および卒業後、大学院において臨床心理士資格の取得を希望する者のために役立つ科目を置いている。社会科学的な調査能力とデータ分析能力を扶育し、社会調査士の資格取得に繋がる科目も置いている。

【学修成果達成のための科目】

DP1 概論、基礎心理学概説、人間関係心理学概説

DP2 基本科目、学科専修科目

DP3 概論、基礎心理学概説、人間関係心理学概説、学科専修科目

DP4 基礎心理学概説、人間関係心理学概説、基礎心理学特講、人間関係心理学特講、
学科専修科目

DP5 基本科目、基礎心理学特講、学科専修科目

DP6 概論、人間関係心理学概説、人間関係心理学特講